

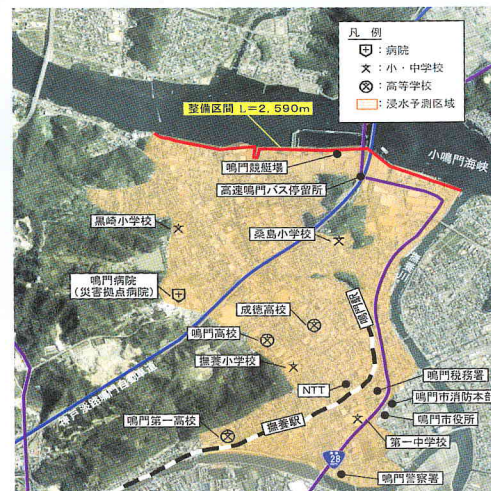
# 撫養港海岸における海岸保全施設整備事業

撫養港海岸背後は、鳴門市の中心市街地が広がる人口密集地ですが、第二室戸台風後整備された既存の防潮堤は老朽化が進行しています。

さらに、東南海・南海地震の発生により、防潮堤の沈下・倒壊が予想され、その後に来襲する地震津波により背後地の甚大な被害が予測されます。

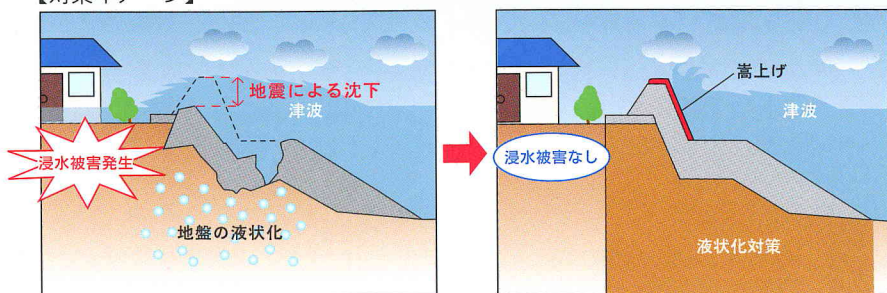
このため、海岸施設における防護機能の確保を目的とした堤防の嵩上げ、液状化対策を平成18年より取り組んでおります。

事業期間：平成18年度～平成27年度  
 (平成18年：事業採択、平成20年：現地工事に着手)  
 整備区間：L=2,590m 防護人口：11,400人  
 防護面積：330ha



H19 d 津波シミュレーション結果より  
 (対象：想定安政南海地震津波)

## 【対策イメージ】



## 防潮堤嵩上げ

### 嵩上げ状況



## 地盤改良

### SAVE マリン工法 (海上)



### SAVE-SP 工法 (海上)



### CPG 工法 (陸上)

